

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

- (1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。〔知識及び技能〕 (2)ウ
- (2) 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。  
〔思考力、判断力、表現力〕 B(1)イ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	仏教説話の効果についてまとめよう （『沙石集』）					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。		「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		仏教説話としての価値を考察し、まとめる活動を通して、作品に表れているものの見方、考え方を理解し、粘り強く解釈に取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
仏教説話としての価値を考察し、まとめる活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	グループで、本文の解釈を考える。 ①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。作者は無住で、仏教説話であることは提示しておく。 ②本文を音読し、古文のリズムに親しむ。 ③グループで輪になり、一人一文読んで現代語訳する。その際別の者は辞書を引くなどのサポートをする。 ④ひととおり終わったところで、本文全体の内容を考察する。 ⑤ワークシートにグループの解釈を記述する。	◎	○		・行動の観察（音読） ・行動の確認（グループワーク） ・記述の分析（解釈）		
2	本文の仏教説話としての価値を考察し、まとめる。 ⑥前時の復習として、クラス全体に、「美しげなる若き殿」の正体と蛇が逃げていった理由を問う。 ⑦全体の解釈を確認し、他の仏教説話を紹介する。 ⑧本文が仏教説話として説得力のあるものであるか、仏教説話としての効果について、自分なりの考えをワークシートにまとめる。 ⑨編者無住について、地元とのかかわりを含めて理解する。 ⑩振り返りを記述する。		◎	◎	・記述の分析（ワークシート） ・記述の分析（振り返り）		

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

### 3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	本文の内容を的確に解釈しており、その内容を踏まえて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、自分なりに考えを深めている。	本文の内容を解釈しており、その内容を踏まえて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方について、自分なりの考えをもっている。	作品の内容を解釈し、自分なりに考えている。